

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	実習	3	1	セラミック	必修	セラミック実習 (公社) 日本セラミックス協会

## 1. 学習の到達目標

陶磁器の製造技術に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

## 2. 学習の評価

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	成形技術に関する基礎的な知識や取り扱い方を身につけ、機械や道具の機能について正しく理解している。 各作業の基本的な事項を理解し、正確な作業ができる。 各作業において効率よく加工されている。	正確な作品ができるよう配慮し、効率よく作業を行うために、手順を工夫している。	各作業の基本的な事項を理解し、正確な作業方法を身につけようとしている。 正確な作品を成形する技術を身につけようとしている。 作業に適した服装をし、正しく着用している。
評価の方法	授業態度（実習服の上下着用）、学習の取り組み状況、課題などの提出物の状況を総合的に判断して評価します。		

## 3. 教科からのメッセージ

ろくろ成形と下絵付というセラミック実習の基礎的な技法を習得します。  
この授業を通して陶磁器の基礎的な知識、技術を身につけることができます。  
まずは、実習服を上下正しく着用し、安全に、また効率的に作業できるよう行動しましょう。また、作品を完成させるために、自分で計画し、制作することで、授業への興味・関心を高めましょう。

年間指導計画 科目名 実習 3 単位 1 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前期	4	成形の基礎Ⅰ	基本的事項
	5 6 7 9	ろくろ成形 (ろくろ成形) ・ハマ ・茶碗	①ろくろ成形の基礎基本を理解、習得する。 ②器が出来るように、確実に芯だしを行う。  成形技術の発展 ①様々な器に対応したろくろ成形技術を習得する。
後期	10	成形の基礎Ⅱ	成形技術の発展
	11 12 1 2 3	ろくろ成形 (ろくろ成形) ・茶碗	②へら各種の成形道具の使用方の学習。  仕上げ技術の確立 ①様々な形体に対応した削り技術を習得する。 ②仕上げカナ各種の使用方の学習。
後期	10	加飾の基礎Ⅰ	基本的事項
	11 12 1 2 3	下絵付 (平皿) ・線描き ・ダミ ・施釉	①下絵の具(呉須)の特性と使用法を理解、習得する。 ②ダミ技法の基礎を理解、習得する。  仕上げ釉薬の基礎 ①仕上げ、施釉の工程を理解する。
後期	10	加飾の基礎Ⅱ	基本的事項
	11 12 1 2 3	下絵付 (湯呑) ・線描き ・ダミ ・施釉	③すじ車を用いた線引き技法を習得する。 ④伝統的な文様について学習する。 ⑤形状にあったデザインを思考し、構成する。  仕上げ釉薬の基礎 ②仕上げ、施釉の技術を習得する。